

日本生活学会 第40回研究発表大会プログラム

2013年 6月1日(土)・2日(日)
於：神奈川県横浜キャンパス

6月1日(土)

12:30-13:30	総会	16号館セレストホール
13:30-14:45	今和次郎賞 授賞式	16号館セレストホール
15:00-18:00	公開シンポジウム 『“生活”学研究への多様なアプローチとその特徴』	16号館セレストホール
会長挨拶 小林 多寿子 日本生活学会会長 ◆第1部 テーマスピーチ 15:00-17:00 主旨説明 内田 青蔵 神奈川大学 教授 テーマスピーチ1 民俗学的観点からの“生活”へのアプローチ 安室 知 神奈川大学 教授、神奈川大学 常民文化研究 テーマスピーチ2 家政学的観点からの“生活”へのアプローチ 水島かな江 徳島文理大学 教授 テーマスピーチ3 社会人類学的観点からの“生活”へのアプローチ 泉水 英計 神奈川大学 准教授、神奈川大学 常民文化研究所 テーマスピーチ4 生活学的観点からの“生活”へのアプローチ 黒石 いずみ 青山学院大学 教授 ◆第2部 ディスカッション 『“生活”学研究の今後 一求められる方法、目的、あり方』 17:00-18:00 司会 有末 賢 慶應義塾大学 教授		
18:15-20:00	懇親会	19号館地下1階「Sami's」

6月2日(日)
＜午前の部＞ 口頭発表 各18分 質疑応答 各7分

10:00-12:05	A会場：『社会・運動・教育』	16号館第2会議室
座長：余語 琢磨 A1 「社会運動における民衆知 - 『伝統』とグローバルなものとの接合」 山越 英嗣 早稲田大学大学院 人間科学研究科 博士後期課程 A2 「運動のヒストリー/女性たちのライフヒストリー-草の実会(1955-2004)を事例に」 清原 悠 東京大学大学院 学際情報学 博士課程 / 日本学術振興会特別研究員 (DC2) A3 「“生活”を授業でどのように展開するか(第2報) -生活関連博物館、工場からの発想-」 篠山 浩文 明星大学 教育学部 A4 「戦後家庭科教育におけるホーム・プロジェクト」 野崎 有以 東京大学大学院 教育学研究科 博士課程 A5 「甘肅省蘭州市から考察する中国の複合的大気汚染の課題と今後の展望」 潘 鈺林 大阪大学大学院 人間科学研究科 グローバル人間学専攻 姉崎 正治 大阪大学大学院 人間科学研究科 グローバル人間学専攻 三好 恵真子 大阪大学大学院 人間科学研究科 グローバル人間学専攻		
10:00-11:40	B会場：『建築・住居・すまい』	16号館第3会議室
座長：安野 彰 B1 「土蔵造町家における近代化について」 田中 和幸 東海大学 B2 「明治期家政書の住居関連記述にみる台所の様相」 須崎 文代 神奈川大学大学院 工学研究科 建築学専攻 B3 「ゲストハウス台頭の背景に関する社会文化史的考察」 石川 美澄 北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院 観光創造専攻 博士後期課程 B4 「生活の場としての食卓の上に置かれた物品に関する調査-女子大学生を対象として-」 森 ゆかり 森建築設計室 横川 公子 武庫川女子大学 生活環境学部 荒井 三津子 北海道文教大学 人間科学部 B5 「四季の移り変わり向き合う暮らしに、求められる住まいの温熱特性及び、現代住宅への応用に関する研究」 金田 正夫 無垢里		
10:00-12:05	C会場：『都市・地域・まち』(1)	16号館視聴覚ホールB
座長：石川 初 C1 「イメージとしての都市：バブル崩壊後の渋谷の20年にみる都市のイメージ形成と作られた多様性」 吉江 俊 早稲田大学 創造理工学研究科 建築学専攻 後藤 春彦 早稲田大学 理工学術院 C2 「沖縄における模合(頼母子講)の文化人類学的研究：那覇の都市生活と親睦模合」 平野(野元) 美佐 京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科 C3 「都市における現地で体験する風景の認識-東京スカイツリーを視対象とする見上げた風景の分析を通して-」 野原 かなえ 早稲田大学 創造理工学研究科 建築学専攻 C4 「『まちづくり漫画』作成に向けた構築プロセスと視覚的要素の分析」 山田 周 早稲田大学 創造理工学部 建築学科 後藤 春彦 早稲田大学 理工学術院 C5 「熱泥噴出に立ち向かう地域コミュニティのゆらぎと再構築-インドネシア東ジャワ州シドアルジョ県ルシー泥火山を対象とした災 内藤 咲希 大阪大学大学院 人間科学研究科 グローバル人間学専攻 三好 恵真子 大阪大学大学院 人間科学研究科 グローバル人間学専攻		

＜午後の部＞ 口頭発表 各18分 質疑応答 各7分

12:05-13:00	昼食	
13:00-13:50	ミニシンポジウム	16号館セレストホール
ミニシンポジウム『生活学ヘリテージ・プロジェクト2012』 代表 小林 多寿子 一橋大学 黒石 いずみ 青山学院大学 野村 知子 桜美林大学 石川 初 株式会社ランドスケープデザイン 中野 紀和 大東文化大学		
14:00-16:55	A会場：『食』	16号館第2会議室
座長：三好 恵真子 A6 「日本における共食文化-直会の特徴と変容を中心に-」 秋野 晃司 女子栄養大学 A7 「大食儀礼と地域食-日光周域における食を通じた民俗慣行の事例から」 松田 俊介 早稲田大学 国際食文化研究所 A8 「スリランカの食：一緒に食べることを、食べないこと」 瀬谷 利雄 和光大学 現代人間学部 座長：秋野 晃司 A9 「中国浙江省杭州市における小学生の茶芸教育」 穴戸 佳織 早稲田大学 国際食文化研究所 招聘研究員 A10 「韓国の祖先祭祀の供物と共食」 林 在圭 静岡文化芸術大学 文化政策学部 国際文化学科 A11 「草餅の食文化誌」 陳 翰希 早稲田大学 人間科学研究科 博士課程 A12 「インドネシア・バリ島東部の共食儀礼」 余語 琢磨 早稲田大学 人間科学学術院		
14:00-16:30	B会場：『農業・流通・衣服』	16号館第3会議室
座長：野村 知子 B6 「都市型ファーマーズマーケットを介した農活動と農家間交流に関する研究-東京朝市アースデイマーケットを対象として-」 加藤 真梨菜 早稲田大学 創造理工学部 建築学科 後藤 春彦 早稲田大学 理工学術院 B7 「地産地消型レストランの実態から見る都市農業のあり方に関する研究-東京都小金井市におけるケーススタディー」 藤井 佳奈 首都大学東京大学院 都市環境科学研究科 都市システム科学域 B8 「ミャンマー・シャン州インレー湖周辺の五日市-『市』の循環と交差するヒトとモノ-」 小幡 壮 静岡県立大学 座長：塩月 亮子 B9 「『密造酒』の生産・流通にみるセーフティネット-バリ島東部農村の事例を中心に」 山崎 真之 早稲田大学 人間科学研究科 後期博士課程 B10 「葎箭の収容物にみる衣生活」 佐藤 誠 立教大学 アジア地域研究所 特任研究員 B11 「離島における新エネルギー普及の可能性について」 松村 悠子 大阪大学大学院 人間科学研究科 グローバル人間学専攻 三好 恵真子 大阪大学大学院 人間科学研究科 グローバル人間学専攻		
14:00-16:55	C会場：『都市・地域・まち』(2)	16号館視聴覚ホールB
座長：田中 和幸 C6 「私有地を開放した民有空間における利用者の自発性と活動の広がりに関する研究-世田谷区のざわてッーひろばを事例として-」 石川 大樹 早稲田大学 創造理工学部 後藤 春彦 早稲田大学 理工学術院 C7 「まちの中における物語性の継承-単身世帯の多い高円寺で、喫茶店から読み解く-」 福澤 香織 早稲田大学 創造理工学部 建築学科 後藤 春彦 早稲田大学 理工学術院 C8 「大都市圏郊外部における未利用地の多目的活用に関する研究 -千葉県柏市カシニワ制度における地権者と利用者の意向に着目して-」 内田 将大 早稲田大学 創造理工学部 建築学科 後藤 春彦 早稲田大学 理工学術院 C9 「地方都市におけるコワーキング・スペースを活用した多拠点就業者のワークスタイルの実態」 茅根 哲朗 早稲田大学 創造理工学部 建築学科 後藤 春彦 早稲田大学 理工学術院 座長：木下 和也 C10 「フィールドワークからデザインへ：日常生活の創意工夫を観察する」 加藤 文俊 慶應義塾大学 C11 「生活空間に存在する『粗悪なもの』に関する研究」 郡司 斐 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 C12 「ヨルダンにおけるパレスチナ系住民とBaladiの存在-パレスチナ・アイデンティティの形成過程とその要因-」 富田 真未 大阪大学大学院 人間科学研究科 グローバル人間学専攻 三好 恵真子 大阪大学大学院 人間科学研究科 グローバル人間学専攻		